

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

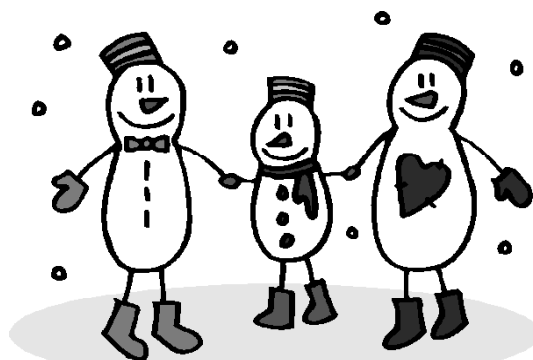


2016年
12
月号



目次

- ☆高浜ビル取り壊しに伴う
～風の子引越し問題について～
- ☆寄付のお礼、恵司のつぶやき・・・2
- ☆赤い羽根共同募金のお礼・・・3
- ☆区民祭りの感想
- ☆ヒューマンプラザ祭りの感想
- ☆クラブ活動報告・・・4
- ☆活動報告、夕会便り・・・5
- ☆僕と彼女と時々僕の家族（田中連載）
- ☆クラブボランティア募集・・・6
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）
第55回
「分身ロボットで旅行」・・・7
- ☆メンバーのつぶやき
- ☆虫めがね～新都知事に一言～・・・8



高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について 転居プロジェクト大きな一歩踏み出しました。

平成28年11月29日、『芝浦日新ビル五階71坪』賃貸契約結しました。

障害者団体の民間賃貸ビルへの入居が難しい中、関係者の協力を得、ビルオーナーの理解も得て、賃貸契約を結ぶことができました。一つの大きな壁乗り越えました。

4月末に転居プロジェクト発足して7か月経過、この間港区役所との月一回の定期ミーティングを重ねながら、不動産情報を集め、物件調査を行いました。理事会メンバー、それぞれの個性、得意を生かし、チームワーク良く効率的に動きました。その結果が契約に結び付けました。

次の課題は、引っ越しに向けての準備です。駐車がまだ見つかっていません。トイレ回りの改良工事、休憩室、作業部屋、企画の部屋等々の間仕切り工事の設備改良工事が必要です。引っ越しに向け、メンバーの現地視察も順次行います。

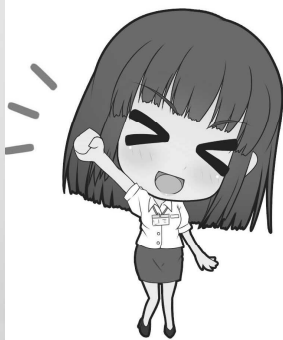
転居プロジェクトは、引っ越し完了まで活動が続けます。

転居プロジェクト：小野塚

寄付のお礼

ありがとうございます！

匿名の方で寄付を頂きました。
ありがとうございました。



赤い羽根

頑張った

けいこ

恵司のつづき

赤い羽根共同募金のお礼



11月16日(水)田町の駅前で、赤い羽根共同募金の活動を行いました。
ボランティアさんや大勢の方含め、募金活動が出来たことに関して感謝しています。

松本 成子



11月16日水曜日。私たち、風の子会は田町駅前で赤い羽根共同募金をやりました。4つの班に分けられました。私の班は塚田君、さいとうさん、なかさんでした。私は大きな声で「募金をお願いします。」言いました。そうしたら、サラリーマンさんが募金箱にお金を入れてくれました。うれしかったです。斎藤さんと塚田くんも頑張りました。いい経験が出来て良かったです。松本さんたちは横断歩道の前で募金をやってました。さいとうさんは大きな声をだしてました。小さな女の子が募金箱に100円を入れてくれました。嬉しかったです。

柳川 敬事

払込票兼受領証

口座番号	001308
右詰めに記入ください	
加入者名	社会福祉法人 東京都共同募金会
金額	¥20163
払込人住所氏名	東京都港区港南1-1-27 カナルビル高浜302 特定非営利活動法人 風の子会
料金	0円
備考	免除
日附印	28-11-18 芝浦海岸通郵便局
	(01027) N94190013

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。



区民祭りの感想*

初めて参加だがすごく良かった。
ものの物販、古本の買取り実楽しかった。
また参加したいと思う。

森 杉



今年も区民祭りが、盛大に港区芝の増上寺で行われました。

二日間行われたこの行事は、初日と二日目もあいにくの天気となり、お客さんが少なかったけれど、それでもなじみの顔にも会えたので、それはそれで嬉しかった。来てくれた人にはありがとうと言いたいです。それと二日目は息子と並んで売り場にいられたのが一番嬉しかった。

松本 成子

ヒューマンフラザ祭りの感想

10月30日日曜日。ヒューマンフラザでお祭りがありました。前半は祭りを楽しみました。5階でゲームをやりました。お昼はカレーライスを食べました。美味しかったです。後半は7階で店番をしました。大きな声がでました。

お客様が来ました。お客様は洋服を買ってくれました。お客様は笑顔でした。やすみの時に缶コーヒーを飲みました。塚田くんもカレーライスを食べました。太田さんはやしそばを食べました。太田さんは祭りの途中で帰りました。塚田君は普通に店番をやっていました。もう少し声を出した方がいいと思いました。



柳川 敬事



クラブ活動報告

ゲーム部はトランプを使い7並べに似たゲームをやりました
声楽部は発声練習とかを行ったそうです。
運動部はスポーツセンターに行き今回は岡本さんが腰を痛めたため急遽代役を立て山名さんが部に加入してクラブ進行をしました。手芸部は毛糸で動物を縫いました。
料理部はたこ焼きを焼きました。

塚田愛基



活動報告

10月8日(土)9日(日)みなと区民まつりが芝公園で行われました。我々風の子会も増上寺で、店を出して古本、アクセサリー、ふきん、はかき、来年のカレンダーなどを販売しました。

2日間とも雨天で色々大変だったそうですが、予定通り実行しました。2日目の9日(日)はテントの中に入る人数だけ現場に行き、それ以外の人達は高浜実習所で夕会(ボランティアについて)をして、午後から雨がやんだので、残りの人達も現場に駆けつけ、商品の販売をしたり、お祭りを楽しんでいた様です。売上は約7万円だったそうです。

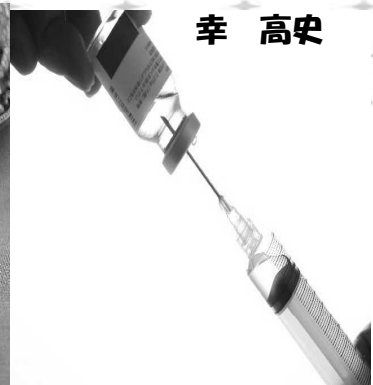
10月24日()・28日(金)インフルエンザ予防接種を2日間に分けて実施しました。

私は24日に受けて注射の針がとても痛く感じました。ああ痛かった！

10月30日(日)ヒューマンぶらざまつりに参加し、区民まつりと同じ商品を販売しました。

売上は約2万円だったそうです。

幸 高史



夕会便り

十月十五日(区民祭の反省会)

メンバー・職員・ボラさんから、意見を挙げて頂きました。

意見を纏めると、「ここ数年赤字だったため完全受注販売にしたが、常連のお客さんからは「カレンダー無いの(商品無いの)?」と聞かれることがあった。」「弁当の中身の量が多かった。」これらについては今後要検討。

十月二十九日(赤い羽根共同募金で何を買うか)

案を皆で出し合いました。

介護(介助)に必要なものや日用品・作業に必要なもの・救命道具などが挙がりました。

田村 亮彦





僕と彼女と時々僕の家族

そして、普段から仕事の合間に、僕のこれからの人生の相談や風の子への想いを聞いてくれました。途中から、職員の移動により僕と離れはなれになって寂しい想いをした頃もありましたが、時々高浜実習所に来てくれることもあり、来るのが待ち遠しかったです。僕の心の中で「早く高浜実習所へ戻ってまた作業をしたり、おしゃべりしたいなあ」と想っていました。それから約二年がすぎ、やっと高浜実習所へ戻ってくることになりました。僕の心の中では「やっとこれで二人中も安泰だ」と想っていましたが、周りの目を気にしすぎて二人の中は上手く行きませんでした。そして時は過ぎ、職員人事がありその職員は退職をしてしまいました。僕の気持ちは複雑でした。ですが、僕は前向きで新たな恋への始まりです。その人も新職員です。今までの職員とは違い、背が高く今時ファッションをしてユニークな人でした。けど性格は真面目で思いやりもあって優しい職員でした。始めは、僕が人見知りの性格のため、あまり会話を出来ずにいたのですが、だんだん彼女と会話をしていくうちに、魅力を感じてきました。毎日風の子会へ来るのが楽しみで、ウキウキワクワクしながら、風の子に通ってました。約六年間僕たちに寄り添ってくれました。楽しい六年間でした。

SATOSHI・TANAKA

クラブボランティア募集

風の子会では、毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています。

運動部、料理部、手芸部、読書部などメンバーそれぞれがやりたい活動をしています。

そこで一緒に活動に参加してくれるボランティアさんを募集します。

メンバーと一緒にクラブ活動に参加してみませんか？

詳細は風の子会までお問い合わせください。

次回のクラブ活動は1月28日（土）（仮）13時からの予定です！

皆様のご参加お待ちしております！

風の子会メンバー同

TEL：03-3474-9674

よろしくお願いします！



バリアフリーよもやま話

第55回 「分身ロボットで旅行」

岡本 明

前回ご紹介した「ユニバーサルツーリズム」は、高齢の人でも障害のある人でも楽しく外出や旅行ができるようにするためのものでした。しかし、進行した筋ジスや ALS、脊髄損傷などで体が動かない、人工呼吸器が離せないなど、どうしてもベッドや自宅から離れられない人もいます。また、子育て中や入院などで出かけられないこともあります。そんな人が自分の分身を使って「旅行したように感じられる」ことを目指して（株）オリイ研究所が開発したのが「OriHime（オリヒメ）」です。高さ約20cm、幅約15cmほどの小さなロボットです。



写真（転載はオリイ研究所様の許可を得ています）のように OriHime にはカメラ、マイク、スピーカーが搭載されていて、行きたいところに持っていったらええ、インターネットを通して操作でき、周囲を見回したり、あたりの人と「あたかもそこにいるように」話したりすることもできます。学校に行けなくても、そこにいるように友達と席を並べて勉強したり、遊んだり、思い出を残すことができます。フリース

クール、特別支援学校、小学校などで少しずつ導入事例が増えているということです。

腕も自由に動かすことができ、操作する人の感情を表現できるようにしているそうですが、OriHime は一見いかにもロボットで、無表情に見えます。実はこのデザインは喜怒哀楽さまざまに見える能面を参考にしたそうで、相手は操作している人（自宅や病室にいる人）の表情を想像でき、徐々に OriHime が本人に見えてくることを狙って意図的にそのようにしているということです。果たしてそうなるのかどうか、とても興味があるところです。確かに、人間の顔にしてみると違うイメージが出てしまうし、表情を克明に表すのもまだ技術的に無理なので、相手の心の中で想像させるというのは面白い試みだと思います。

このような分身ロボットには、さらにこんなこともできたら、あんなこともやってみたい、と次々に夢が生まれます。

操作する人の顔が相手にもわかるように、ディスプレイを付けたらどうか（見せたくなければ自由に OFF にできる）。外国でもコミュニケーションに苦労しないように、音声認識や音声合成を付けて自動翻訳もできるようにしたらどうか（カタコトでもいいから自分でやりたい人は OFF にすればいい）。人に持っていったらええのは大変だから、各地でレンタルできるようになるといいな（レンタカーを借りるように）。その場合には自分で歩き回ることができるように、しっかりした歩行機能が必要ですが、自由に歩けるロボットはいずれできるでしょう。

ところで、外国にある OriHime を操作するときには問題になるのは時差ですね。パリの昼間の明るい街並みにいる OriHime を操作している日本は真夜中で、部屋は電気がついていて、外は真っ暗。これはちょっと違和感があります。本当にパリへ旅行したとしたら、時差ボケになっているかもしれません。それも実感したいですね。そんなときに、まだ研究中の技術ですが、「バーチャルリアリティ（人工現実感）」という技術が使えるかもしれません、コンピュータグラフィックスなどで部屋の中にパリの街を人工的に作り出し（人工環境）、あたかも本当にそこにいるように知覚させるのです。風が吹いていれば風も作り出し、匂いも発生させる。さらに、パリの街の人と握手をしたら人工触覚によって操作する人の手にその感覚が伝わる……。

これらはまだまだ先のこととしても、OriHime は、ドラえもんの「どこでもドア」に一步近づいたものだと思います。

シンパの 日がやき

ひとつひとつ病院で素にもととしていく風の子も同様だ。ひとつひとつの訓練これしかない。

森 杉

10年くらい前に風の子にいた非常勤の彼とは、風の子以外でもたまに遊んだりしていた。神宮に野球観戦に行ったり、品川の水族館に行ったり、だんなに誘われて落語を聴きに行ったりした。たまには飲みに行ったりもした。僕より少し年上だったので、兄のように接することができたことが僕にとって気軽だったのかもしれない。映画にも連れて行ってくれた。豊洲のららぽーとはゆりかもめで簡単にいけるということを知り、それ以来僕は一人で豊洲に頻繁に行くようになってしまった（今年も30回は観に行っている）。彼のおかげでここ数年間の僕の大きな趣味というか習慣が出来上がったといってもいいくらいだ。彼に対する感謝の思いは尽きることがない（褒めすぎかな？）。

というわけで金子さん、最近ちょっとご無沙汰なので、またゆっくり飲みましょう。

小野塚 航

石立鉄男＝（安武右京）主演の「パパと呼ばないで」のDVDを観ているのですが、これは1977～78年に放送されたドラマで、流石（さすが）に時代を感じさせます。当時はまだタバコを吹かしながらの演技が許されていたのですね、でも演技は上手いし内容も面白いです。他の出演者というと、子役では杉田かおる＝橋本千春・米屋のおじちゃん役＝井上精太郎＝大坂志郎・おばちゃん役＝井上時枝＝三崎千恵子・長女役＝井上園子＝松尾嘉代・次女役＝井上和子＝有吉ひとみ・長男＝井上昇＝小林文彦・魚屋のおじさん＝花沢徳衛が出演していました。内容を大まかに言いますと、時は1970年代、事故で安武右京は姉（橋本千春の母）を亡くし姪の千春を育てることになった右京が米屋に居候しておじちゃんやおばちゃん・近所の人・会社の同僚に助けをもらいながら孤軍奮闘する下町を舞台とした人情物語です。

三木 直人

虫めがね ～新都知事に一言～

ほくは小池さんに入れなかったけど、決まった以上頑張っで欲しい。
豊洲移転問題、4年後の東京オリンピックなど解決する事が多いと思う。

森 杉



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

幸森松田小太
本村野田
塚
高杉恵亮 圭
史 司彦航子

和柳三塚田太
栗川木田中田
頭
太敬直愛
郎事人基聡穂

企画編集メンバー

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

